

陸前高田発

水産業への復興支援

水産業を担う若者達への復興支援として、大手飲料サントリーグループから、水産について学んでいる陸前高田の高校生に奨学金が贈られました。サントリーグループでは、2012年から岩手など東北の被災4県で震災のため経済的に学校に通うことが困難になった水産高校の生徒を対象に奨学金を支給しています。高田高校で行われた贈呈式には奨学金を受ける海洋システム科17人の生徒が出席し、目録やサントリーバレーボール部の選手のサイン入りボールなどを贈られました。この奨学金は2017年3月まで続けられる予定です。(7/17 ニュースエコー)



山田発

災害公営住宅着工

山田町の中心部に町内最大規模となる災害公営住宅が着工しました。「山田中央団地災害公営住宅」は、3メートルほどかさ上げしたおよそ1.2ヘクタールの敷地に鉄筋コンクリートづくり・6階建ての建物を整備するもので、町内最大規模の146戸が入居できます。外観は白とグレーを基調に町を象徴する「養殖いかだ」をイメージしたデザインです。完成は来年9月の予定で、近くには商業施設や駅も再建されることになっています。

(7/21 ニュースエコー)



完成予想図

宮古発

鉾ヶ崎地区防潮堤工事

震災の津波で甚大な被害を受けた宮古市鉾ヶ崎地区で、防潮堤工事の安全祈願祭が行われ最長区間が着工しました。宮古の水産業の拠点として古くから栄えた鉾ヶ崎地区ではこれまで防潮堤が作られず東日本大震災では壊滅的な被害を受けました。鉾ヶ崎地区の防潮堤工事は去年一部区間でスタートしていますが、今回768メートルの区間が着工したことで、本格的に始まりました。隣の日立浜地区での契約も完了しており、高さ10.4メートル総延長1.6キロに及ぶ巨大な防災施設が建設されます。総事業費はおよそ90億円で再来年3月の完成を目指しています。(7/21 ニュースエコー)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、おおつちさいがいエフエムから、大槌町在住の煙山佳成さんが「自主防災活動」について伝えてくれました。煙山さんは元消防団長で、煙山さんが住んでいる大槌町の安渡地区は自主防災活動が盛んです。独自に地域防災計画を作成して町に提出。今年の3月には役場と合同で避難訓練を行いました。また、仙台で開催されたあつた国際防災世界会議では、訓練の様子をビデオで紹介し、安渡地区の自主防災活動を全国に伝える良い機会となったと話していました。(7/22)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122